



語呂(ごろ)あわせの記念日

修学旅行 銀閣寺にて

校長 竹下 昌之

3月3日は「ひな祭り」です。ひな(雛)とは、ヒヨコとかヒナドリという意味のほかに“小さな人形”という意味があり、昔は、簡単な人形「ひいな」をつくってそれを川に流し、女の子が元気に育つようにと祈ったのだそうです。それがだんだんエスカレートしてきて、今から30年前頃から今のような人形のかざりつけをするようになりました。

また、一説には、昔、小さな人形で“ままごと遊び”をすることを“ひいな遊び”と呼んでいたのが「ひな祭り」の語源ともいわれています。

ところで、この日は、江戸時代、ひな祭りの時に金魚と一緒にかざったことから、のちに「金魚の日」という記念日(日本鑑賞魚振興会が制定)がうまれました。

また、3月3日といえば「耳の日」。この日がなぜ「耳の日」となったかというと、3月3日の3・3が「みみ」に通じること、目が見えない・耳が聞こえない・声が出ない三重苦の女の子ヘレン・ケラーにサリバン先生が教育を始めた日であること、また、電話の発明者で、目・耳・口(声)が不自由な人々のための教育(聾啞教育)に力を注いだグラハム・ベルが誕生した日でもあったことから、1956(昭和31)年に耳鼻咽喉科のお医者さんの集まり(「日本耳鼻咽喉科学会」)が健康な耳と声を大切にする運動を広めるために、この日を「耳の日」と定めました。また、この日に関連させて、耳かき具メーカーのレーベン販売が制定した「耳かきの日」という記念日もあります。

このように、日本には数字の語呂あわせで記念日になったものとして、6月4日の「虫歯予防デー」、8月7日の「鼻の日」、9月9日の「救急の日」など、たくさんあります。

では、3月4日は何の記念日でしょうか?ヒントは“数字の語呂あわせ”で考えてみましょう。

【答え】1、「サッシの日」

これは、アルミサッシをつくっているYKK AP(吉田工業)という会社が宣伝のためにつくった記念日です。サッシとは“窓に使われている材料”という意味ですが、日本で初めて窓わくとしてアルミ材が使われたのが今から88年前の1932(昭和7)年のこと。周囲が海に囲まれ雨も多い日本では、木や鉄にくらべて軽くてじょうぶで長持ち(くさらず、さびない)する材料として今やさまざまな場所に使われています。※「サッ(3)シ(4)」の語呂合わせ

2、「ミシンの日」

縫(ぬ)う機械という意味の英語「SEWING MACHINE」がミシンとなつたそうです。(イギリス人のトマス・セントが皮革を縫うミシンを発明したのが1790年、そこでミシン発明200年を記念して1990(平成2)年に日本家庭用ミシン工業会が制定しました。)

3、「三線(さんしん)の日」

沖縄県の琉球(りゅうきゅう)放送が制定した記念日で、三線とは、三味線(しゃみせん)のもとになった楽器です。これも、さん(3)し(4)ん」の語呂合わせ。

結びに、3月5日は何の記念日でしょう?

【答え】「サンゴの日」→1996(平成8)年に、さんご礁(しょう)の保護を目的に世界自然保護基金(WWF)が制定したものです。